



Voice 社会人入試を経験してみても



2023年度
社会人入試
選考方法: 面接

入試区分	出願期間 (消印有効・持参可)	試験日	合否発表 (郵送発送)
社会人 A	2022年9月30日(金)～10月28日(金)	10月29日(土)	11月10日(木)
社会人 B	2022年11月28日(月)～12月16日(金)	12月17日(土)	12月22日(木)
社会人 C	2023年1月6日(金)～1月20日(金)	1月28日(土)	2月2日(木)
社会人 D	2023年2月9日(金)～2月24日(金)	3月3日(金)	3月3日(金)



谷口 友香里 さん(2021年度入学)

略歴

- 関西学院大学・社会学部・社会学科 卒業
- 理化学器機の商社に就職
- 顧客対応・人事(給与・労務等)などの事務職を経験



■ 社会人入学で保育を学びたいと思うようになった経緯を教えてください。

元々子どもが好きで、子どもに関わることがしたいと漠然と考えていましたが、大学時代のゼミでの学びや、保育士をしている兄夫婦の姿を見たり、甥たちと関わったりするなかで、『子どもと大人の関係性』や『子どもとの関わり方』に興味湧き、保育士を目指すようになりました。

また、勤めながら通信講座にも挑戦しましたが、仕事との両立が難しかったことも社会人入学を決めた理由の一つです。**働く中での勉強時間の確保はなかなか難しく、保育の勉強に専念したい**と考えました。

■ 聖和短期大学を選んだ理由を教えてください。

関西学院大学在学時、卒論執筆などでおもちゃとえほんのへやや聖和キャンパスの図書館を利用していたこともあり、聖和キャンパスには元々なじみがありました。学校選びの際には、学校全体の雰囲気や自分と合っているかを重視したいという思いもあり、同じ学校法人で雰囲気が似ている聖和は安心感がありました。また、社会人入学を家族に相談した際に、**親世代の持つ『保育なら聖和』という伝統あるイメージも後押し**になりました。

■ 社会人を経てから学んで良かったと思うことがあれば教えてください。

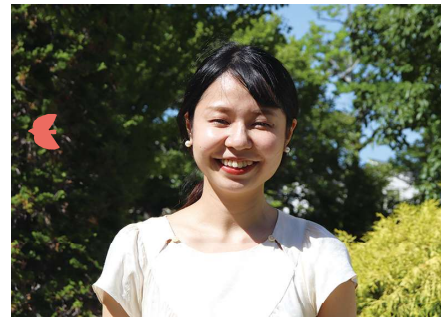
仕事をしていると勉強をする時間がなかなか確保できず、通信講座での資格取得も難しかった経験から、**「学びに専念できる環境」に対するありがたさは日々感じています**し、学びへの集中力もより高まっていると思います。学校生活の中では、現役生の友人と話すことで、フレッシュな意見を自分の中に取り入れたり、新鮮な気持ちで学ぶことができます。反対に、友人の悩みに対して、自身の経験から力になれることがあると、私も嬉しくなります。

■ 社会人入学に当たって、不安を感じることはありませんでしたか？

現役生とは年齢差があるので、友達ができるかどうかに関してはとても不安でした。入学した当初はクラス単位での行動が多いことに対する戸惑いもありましたが、**自分と同年のように接してくれるよい級友ばかりで、すぐにみんなと打ち解けることが**できました。また、「一度職を離れて入学するからこそ、必ず保育者にならない」という負い気が入学前もありましたが、同じ社会人入学の島田さんと悩みを話し合ったり、先生方にお話したりと、相談しやすい環境があります。

■ 社会人入学を考えている人にメッセージをお願いします。

現在の環境を離れて学び直すことは、とても勇気のいることだと思いますし、見通しを持って働かれてきた方ほど、卒業後のキャリア設計に悩まれるかもしれません。しかし、学びながら新たな可能性に出会えることもあります。**幼児教育は特に専門知識を身に付けた分だけ、どんどん面白く、興味深くなる**と感じています。入学してからの悩みもあると思いますが、ともに学べる同級生がいることはとても心強く、また先生方も生徒一人ひとりのことを想ってくれているのが普段から伝わってくるぐらいあたたかい方ばかりで、とても学びやすい環境だと思います。今のお気持ちを、心から応援しています。



島田 杏実 さん(2021年度入学)

略歴

- 東京家政大学・家政学部・造形表現学科 卒業
- キリスト教世界宣教船 Logos Hope にてボランティアとして従事
- 児童養護施設にて指導員を経験
- 関西学院大学神学部にて教務補佐を経験



■ 社会人入学で保育を学びたいと思うようになった経緯を教えてください。

元々子どもや教育については興味があり、子どもに関わることを学んだり、子どもと関わる場所で働いてきました。その中で、児童養護施設で勤務した際の経験が、幼児教育について一から学ぼうと思ったほどきわ強いきっかけです。児童養護施設で最初に養育を担当したのは3才の男の子で、当時は幼児教育について全く学んだことがない状態でした。周りの職員の振る舞いを参考に子どもと接するようにしていましたが、自身の考える「子どもとの接し方」とのギャップを感じると同時に、3才という年齢の子どもを担当したことで、人間の土台作りとなる幼児期の大切さを痛感しました。この経験から、**自分のなかだけで正解を探すのではなく、専門家から幼児教育の基礎を一からきちんと学んでみよう**と思いました。また、単に幼稚園教諭・保育士免許取得のためだけに幼児教育を学ぶのではなく、キリスト教保育について直に先生から学びたいとも考えていたので、通信講座ではなく社会人入学を選びました。

■ 聖和短期大学を選んだ理由を教えてください。

聖和短期大学について知ったのは、関西学院大学神学部で働いていた時、神学部で教鞭をとる先生が聖和の教授でいらっやると知ったことがきっかけでした。歴史があり、良い教育をされている学校という印象を抱くとともに、**聖和の建学の精神である「All for Christ (キリストに心を向けて)」や、教育理念等に惹かれました**。実家が教会ということもあり、幼い頃からキリスト教に親しむ中で、キリスト教教育は私自身の人生の中で大切な軸だと感じていたため、聖和のキリスト教教育への姿勢に共感しました。

■ 社会人を経てから学んで良かったと思うことがあれば教えてください。

児童養護施設での指導員の経験があったからこそ、現在学んでいる内容も、自身の経験と照らし合わせて考えることができ、より理解を深めることができています。また、**今まで保育以外の分野について学んだり、働いた経験があるからこそ、保育以外の視点も持ち、視野を広くすることができている**と感じます。

■ 社会人入学に当たって、不安を感じることはありませんでしたか？

金銭面での不安がありましたが、幸いなことに**国の教育訓練給付金制度や聖和短期大学独自の奨学金制度など、利用できる制度が充実**していましたが、それを利用できる機会にも恵まれました。

進路の面では、「保育士や幼稚園の先生になりたい」という動機ではなく、「幼児教育やキリスト教保育について深く学びたい」という気持ちで入学したので、卒業後の進路についての悩みもありません。卒業後は必ず保育者にならなければいけないのかなというプレッシャーを感じたこともありますが、先生方や同じ社会人入学の谷口さんに相談したり、話を聞いてもらったりして不安を解消していました。

■ 社会人入学を考えている人にメッセージをお願いします。

聖和短期大学は、環境はもちろん、なにより「人」に恵まれています。学生も優しい人や温かい人が多いですし、先生方も保育者のロールモデルともいえる素敵な方がたくさんいらっしゃいます。授業や普段の先生方の姿を通して、**「保育者として、こんな風に人と接していきたい」と感銘を受ける**ことも多いです。そんな素敵な人が集まるのは、聖和が建学以来大切にしてきたことが、理念や歴史として学校に根付いているからだだと思います。

保育を学ぶにあたり、通信教育等を通して自分自身で学ぶことももちろん良いと思いますが、**人と人との繋がりが大切な保育について学ぶなら、人から直に学ぶことも大切ではないか**と個人的には感じています。聖和では、先生が実際の経験に基づいたエピソードを授業でお話しして下さるので、教科書では学べないことが多く学べる点も素敵だと思います。

